

令和3年10月15日  
独立行政法人福祉医療機構  
経営サポートセンター長 坪井 七夫  
経営サポートセンター  
リサーチグループリーダー 松本 庄平  
担当 内記・佐藤 (電話) 03-3438-9932  
(FAX) 03-3438-0371

## 病院経営動向調査(2021年9月)の結果について

独立行政法人福祉医療機構では、今後の病院経営や医療政策の適切な運営に寄与するため、病院経営における現場の声・実感や定期的な経営動向の変化を調査する仕組みとして、2019年から病院経営動向調査を四半期毎(3月、6月、9月、12月)に実施しています。今回は2021年9月に実施した本調査の結果についてご報告します。

詳細はホームページ(<https://www.wam.go.jp/hp/hp-survey/>)に掲載しております。

### 1. 調査の概要

- 対象：病院(340施設)を運営する法人255法人(うち、医療法人214法人)\*法人調査対象は医療法人のみ
- 調査事項：病院および医療法人の収益・費用・利益、資金繰り、従事者数等に関する現在の状況と3ヶ月後の先行き予測、新型コロナウイルス感染症の影響
- 回答数：病院：265 医療法人：164 有効回答数：病院：265 医療法人：164
- 有効回答率：病院：77.9% 医療法人：76.6%
- 実施期間：2021年9月6日(月)～2021年9月27日(月)
- 実施方法：Web上で実施
- 集計方法：DI(景気変動を判断するための指標。各項目の第1選択肢の回答割合から第3選択肢の回答割合を差し引いて算出)に加工・集計して公表

### 2. 調査の結果

#### 【病院の動向】

- 医業収益のDIは、一般病院が3(前回調査より18%ポイント上昇)、療養型病院が15(同15%ポイント上昇)および精神科病院が△27(同4%ポイント低下)となった。
- 医業収支(黒字・赤字)のDIは、一般病院が△2(前回調査より16%ポイント上昇)、療養型病院が34(同7%ポイント上昇)および精神科病院が6(同2%ポイント低下)となった。
- 資金繰りのDIは、一般病院が△1(前回調査より1%ポイント上昇)、療養型病院11(同4%ポイント上昇)および精神科病院△23(同2%ポイント低下)となった。
- 従業員数のDIは、一般病院が△24(前回調査より4%ポイント低下)、療養型病院が△34(同7%ポイント低下)および精神科病院が△29(同6%ポイント低下)となった。
- 経営上の課題について、前回に引き続き人件費の増加と職員確保難を挙げる声が多かった。

#### 【医療法人の動向】

- 事業収益のDIは11(前回調査より16%ポイント上昇)、事業収支(黒字・赤字)のDIは17(同13%ポイント上昇)、資金繰りDIは△1(同3%ポイント上昇)、従業員数のDIは△29(同6%ポイント低下)となった。

#### 【新型コロナウイルス感染症の影響】

- 2021年度上半期(2021年4月～9月)において、医業収益(見込み)が減収(1割以上減)となった病院の割合は前年度(2020年度)同期比で18.5%、前々年度(2019年度)同期比で32.1%となった。
- 2021年度上半期医業収益(見込み)が前年度同期比で減収(1割以上減)となった病院の割合は、新型コロナウイルス感染症患者(以下「コロナ患者」という。)の受入実績のある一般病院で19.4%、コロナ患者の受入実績のない一般病院で13.6%となった。
- コロナ患者を調査時点で受け入れている病院の割合は、一般病院で50.0%、療養型病院で6.2%、精神科病院で6.3%となった。
- コロナ患者の病床確保に関する補助金については、「新型コロナウイルス感染症感染拡大防止・医療提供体制確保支援補助金」を受給した(申請中含む)病院の割合が71.7%と最も大きかった。